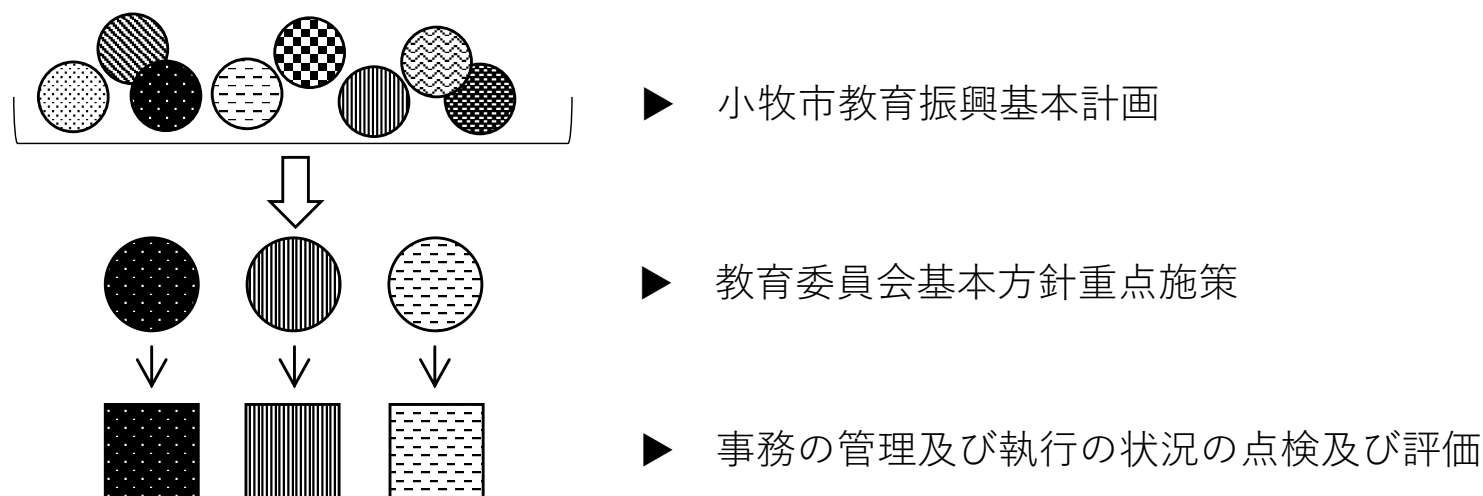


# 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

資料1

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価と

教育委員会基本方針重点施策について



教育委員会では

**小牧市教育振興基本計画**にある事業のうち

年度ごとに重点的に取り組む事業を選定し、**教育委員会基本方針重点施策**としてまとめています。

重点施策は年度末に実施状況を点検・評価（=**事務の管理及び執行の状況の点検及び評価**）します。

今回は、文化・スポーツ課所管の事業の点検・評価をスポーツ推進審議会で行います。

審議会の意見を反映した実施状況は、評価委員会で重点施策の全ての事業とあわせて点検・評価されます。

## 小牧市教育振興基本計画評価指標（基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開）

| 指標名                                   | 基準値              | 目指す方向性<br>(目標値) | R5       | R6       |
|---------------------------------------|------------------|-----------------|----------|----------|
| 週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合                | 53.6%<br>(R3)    | 65.0%           | 57.0%    | 58.7%    |
| 健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合 | 86.7%<br>(R3)    | ↗               | 86.4%    | 87.2%    |
| スポーツ教室などへの参加者数                        | 2,838人<br>(R4)   | ↗               | 3,062人   | 2,976人   |
| スポーツ指導者登録者数                           | 278人<br>(R4)     | ↗               | 289人     | 490人     |
| 市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数       | 0件<br>(R4)       | →               | 0件       | 0件       |
| 市が管理するスポーツ施設の年間利用者数                   | 469,015人<br>(R4) | ↗               | 507,822人 | 535,170人 |
| パークアリーナ小牧メインアリーナの利用率                  | 76%<br>(R4)      | ↗               | 76%      | 79%      |
| パークアリーナ小牧サブアリーナの利用率                   | 84%<br>(R4)      | ↗               | 81%      | 75%      |
| 南スポーツセンターグラウンドの利用率                    | 43%<br>(R4)      | ↗               | 31%      | 33%      |
| 2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合  | 16.4%<br>(R3)    | ↗               | 34.0%    | 55.4%    |

# 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 対象事業（令和7年度小牧市教育委員会基本方針重点施策）

## 基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

|   |   |
|---|---|
| <p>施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進<br/>スポーツ教室の開催</p>    | <p>小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。</p>                   |
| <p>施策26 こどものスポーツ活動の充実<br/>こども対象のスポーツ教室の開催</p> | <p>子どもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。</p>                              |
| <p>施策26 こどものスポーツ活動の充実<br/>地域部活動の検討</p>        | <p>令和5年度には2校、令和6年度は令和5年度の2校に3校を加えた5校をモデル校として部活動改革に取り組む中で、地域においてスポーツ・文化活動が実践できる環境の整備に取り組みます。</p> |
| <p>施策28 市民のスポーツ活動を支える環境整備<br/>スポーツ施設の環境整備</p> | <p>利用者が市内のスポーツ施設を良好かつ安全に利用できるよう、スポーツ施設の適切な維持改善、計画的な改修を行います。</p>                                 |

## 「スポーツ教室の開催」実施状況（1）

（内容）小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。

### 【施策の実施方法】

本市では、スポーツ協会に加盟する競技団体及び小学校区スポーツ振興会などの地域スポーツ団体並びに市やスポーツ協会が様々なスポーツ教室を開催し、市民がスポーツを始め、それぞれのライフスタイルに応じて継続してスポーツに取り組むことができる機会の提供に取り組んでおります。

また、これらのスポーツ団体に対し、助成金等の支出や市内のスポーツ施設及び学校体育施設の優先貸出といった各種支援を実施することで、市内のスポーツ団体の活性化に取り組んでおります。

#### 競技団体の スポーツ教室

こどもから大人まで、基礎技術の習得や競技力の向上を目的に開催

例：柔道、剣道、サッカーなど

#### スポーツ協会の スポーツ教室

競技団体で実施していない種目や、競技を始めるきっかけの場として開催

例：テニス、卓球、初心者水泳、ジュニア育成、Viva! スポーツクラスなど

#### 市の スポーツ教室

健康増進を目的とした教室や、こどもの発育を目的とした未就学児、小学生向けの教室を開催

例：シルバースポーツ学級、親子体操教室、ノルディックウォークなど

#### 地域スポーツ団体の スポーツ教室

気軽に楽しめるニュースポーツなどを小学校区スポーツ振興会などが開催

種目例：ペタンク、モルック、ボッチャなど

## 「スポーツ教室の開催」実施状況（2）

### 競技団体のスポーツ教室

・こどもから大人まで、基礎技術の習得や競技力の向上を目的に通年で参加できる教室を開催しています。

※詳細は別紙参考「令和7年度小牧市民スポーツ教室」パンフレットのとおり

### スポーツ協会のスポーツ教室

・大人をメインターゲットとし、そのスポーツを知ってもらう、始めてもらうきっかけづくりのため、5種目（テニス、卓球、バドミントン、ミニテニス、ミニトランポリン）の教室を開催しました。

※こども対象の教室は後述

※詳細は別紙参考資料1-1,1-2 参考「令和7年度小牧市民スポーツ教室」パンフレットのとおり



## 「スポーツ教室の開催」実施状況（3）

### 市のスポーツ教室

・いきいきシルバースポーツ学級・・・60歳以上を対象。ストレッチやレクリエーションスポーツを通年で複数の種目を体験し、スポーツを始めるきっかけの場、健康維持・コミュニティづくりの場としています。講師は小牧市スポーツ推進委員やスポーツ協会加盟団体などが務めています。

・ノルディックウォーク講習会・・・市内在住・在勤・在学者であればどなたでも参加できる教室です。正しくポールを使うことで上半身を使い足腰の関節への負担軽減が図られます。歩行姿勢の改善やリハビリにも応用することができ、日常生活において健康増進に役立ててもらうため開催しています。全日本ノルディックウォーク公認指導員のもと、前期は小牧山、後期は市民四季の森で開催しました。

※詳細は別紙参考資料1-1,1-2のとおり



## 「スポーツ教室の開催」実施状況（4）

### 地域スポーツ団体のスポーツ教室

・こどもから高齢者まで気軽にスポーツに親しんでもらうため、スポーツ協会に加盟している小学校区スポーツ振興会などに地域スポーツ教室の開催委託をしています。

講師は主に各校区のスポーツ推進委員が務めており、令和7年度は12月末時点で11校区で開催予定です。12月末までに7校区で事業完了しており、延べ758人が参加しました。

※詳細は別紙参考資料1-3のとおり



### 課題

- スポーツ協会のスポーツ教室の受講者アンケートにおいて、技術レベル別のクラス分けの要望があり、対応を検討する必要があります。
- 成人の週1回以上のスポーツ実施率は上昇しているが目標値には満たない状況です。また、30歳代～50歳代のスポーツ実施率が50%未満となっているほか、男性に比べて女性のスポーツ実施率が低い状況です。

### 今後の取組

- 初心者がスポーツを始めるきっかけとなることを目的に開催している教室ですが、参加者の中に経験者が混じることがあります。可能な限り参加者同士のレベルが合うような組み分けをするなど、参加者にとってより効果的で楽しい教室となる様に取り組めます。
- スポーツ実施率の向上に向け、働き世代や子育て世代、女性をターゲットとした施策を検討してまいります。

## 「こども対象のスポーツ教室の開催」実施状況（1）

（内容）こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。

こどもの体力・運動機能の低下が問題視される中、早い時期から運動に触れ、運動を好きになり、様々な年代のこどもたちと触れ合いながら心身を健全に発育させることを目的にスポーツ教室を開催しています。

親子ふれあい体操教室、小牧市スポーツ協会主催のジュニア体操教室などを開催し、こどもたちが楽しくスポーツに親しむ機会を提供しました。

### スポーツ協会のスポーツ教室

・未就学児から中学生までを対象とした各種教室（あそび運動教室（年中～年長・保護者対象）、かけっこ教室、初心者水泳教室、ジュニア体操教室、ジュニア育成（Viva!スポーツクラス含む）、スポーツクリニック）を開催しました。

・スポーツクリニックでは、東海理化チェリーブLOSSAMZ（ソフトボール）、クインシーズ刈谷・ウルフドッグス名古屋（バレーボール）に協力いただき、小学生・中学生に対して指導していただいています。

※詳細は別紙参考資料1-4,1-5 参考「令和7年度小牧市民スポーツ教室」「ジュニア育成活動」パンフレット、「Viva!スポーツクラス」チラシのとおり



## 「こども対象のスポーツ教室の開催」実施状況（2）

（内容）こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。

### 市のスポーツ教室

・親子ふれあい体操教室・・・未就学児（0～2歳児）を対象とし、親と子のふれあいのなかで、親は遊ばせ上手に、こどもは遊びを通じて生きる力を育てるために教室を開催しました。

・わいわいキッズNewスポーツフェスタ・・・小学生をメインターゲットとして、ニュースポーツをアレンジした種目を体験し、気軽にスポーツに触れてもらうことで、こどもたちにスポーツへの興味を持ってもらうことを目的としています。

※詳細は別紙参考資料1-4,1-5のとおり



### 課題

- 未就学児を対象とした事業の中で、あそび運動教室・親子ふれあい体操教室は定員割れが生じています。

### 今後の取組

- あそび運動教室の周知のため、児童館やこども未来館にチラシを設置するほか、他の未就学児向け教室の参加者に直接PRするなど、参加者の獲得を目指します。
- 令和5年度より0歳児～2歳児の保育料を無償化したことや少子化の影響が考えられますが、親子ふれあい体操教室の定員に満たない回が見受けられます。今後の状況を見ながら、講座の実施回数などを検討してまいります。

## 「地域部活動の検討」実施状況

(内容) 令和5年度には2校、令和6年度は令和5年度の2校に3校を加えた5校をモデル校として部活動改革に取り組む中で、地域においてスポーツ・文化活動が実践できる環境の整備に取り組みます。

学校部活動の地域連携・地域展開を検討するため、モデル校において、休日の地域連携部活動に取り組みました。

### <取組状況>

バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、野球、サッカー、ソフトボールの各種目において、大会予定や各校の行事予定を考慮しながら、休日は地域連携部活動として活動する日を設けた。

### <令和7年度モデル校における成果>

- ・在籍校にない種目でも希望する生徒の活動の場を保障することができた。(バスケットボール、野球、サッカー)
- ・複数の教員、外部指導者が関わることで、練習の質を高めることができた。

※令和8年1月に小中学校部活動検討委員会を開催予定

※中学校部活動の現状については、参考資料1-6,1-7のとおり

## 課題

- 生徒数の減少等により学校単位の部活動を維持していくことが困難な状況にあります。
- 地域連携をどのように進めるか、枠組みを検討する必要があります。
- 地域における指導者の量を確保する必要があるとともに、指導者の質を高めていく必要があります。
- 活動場所、用具の確保、責任の所在、受益者負担(保険料や指導員の謝礼等)などについて、検討をする必要があります。

## 今後の取組

- 国、県の動向及び近隣市町村の状況を把握するとともに、小牧市として部活動の地域連携・地域移行の方向性を示します。
- これまでの取組を基に、令和8年度は休日の地域連携部活動を継続していきます。令和9年度からは、スポーツ・文化活動を地域における活動とすることを目指し、枠組みを構築していきます。

## 「地域部活動の検討」実施状況

### 地域での取組イメージ

学校部活動として運営されてきた活動を地域全体で支えていく体制を構築

#### 市が運営

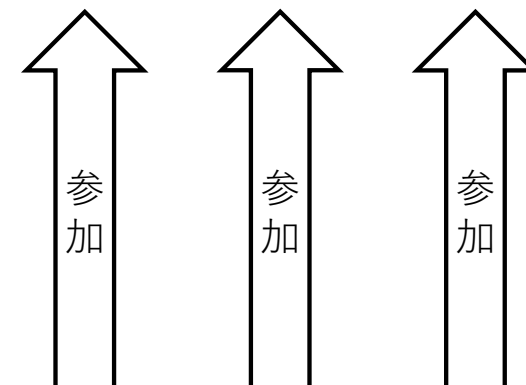
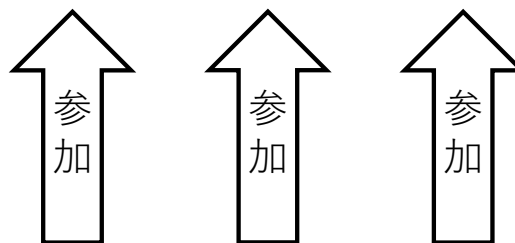
- ・市全体を4ブロックに分け、種目によって活動する会場（学校施設等）を指定。
- ・ダンス等、これまでの部活動になかった種目についても生徒のニーズに合わせて検討。
- ・指導者（民間指導者+希望教員：兼職兼業）の確保や運営等に民間事業者への委託を検討。

#### 民間団体が運営

- ・国が示した要件、認定手続きに基づき、市が中学校等の部活動を継承・発展させた生徒のスポーツ・文化芸術活動として認定を実施。
- ・要件を満たした民間団体等に学校施設等を開放。

#### ジュニア育成活動 （スポーツ協会）等

- ・現在ある取組をベースとし、受け皿の一つに。



生徒が自身の希望に合わせ、スポーツ・文化芸術活動に親しむ場を選択

生徒

## 「スポーツ施設の環境整備」実施状況

(内容) 利用者が市内のスポーツ施設を良好かつ安全に利用できるよう、スポーツ施設の適切な維持改善、計画的な改修を行います。

### ○総合体育館

- ・トイレ改修工事
- ・音響設備等更新工事
- ・園路改修工事
- ・屋外スピーカー取替修繕
- ・管理棟空調機更新工事
- ・交流サロン外空調機更新工事

### ○総合運動場

- ・野球場事務所空調設備更新工事
- ・野球場クッションラバー修繕

### ○南スポーツセンター

- ・屋外トイレ改修工事
- ・プール濾過装置修繕

## 達成状況

- 工事が順調に進むよう、施工業者及び関係課と連携を取りながら、工事の監理・監督を行いました。
- アジア大会に向けて総合体育館のトイレ改修、音響設備、照明環境制御システム改修工事、園路の改修などを行っております。

## 課題

- 施設が全体的に老朽化しており、施設運営においては故障する前の予防整備が重要です。

## 今後の取組

- 利用者の方が安心して利用できるよう、運営する小牧市スポーツ協会や市の関係部署と協議しながら適切な維持管理に努めます。



総合体育館トイレ



総合体育館 園路



野球場クッションラバー